

データドリブン・マネジメントサービス

データドリブン・マネジメントの実現によるVUCA時代の競争優位性の創出

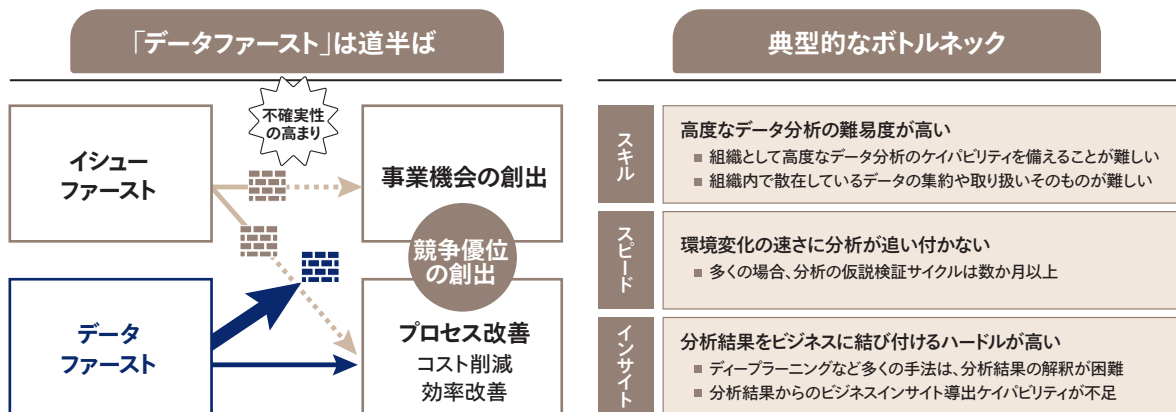
VUCA時代の競争優位性の創出には、データからスピーディにビジネスインサイトを抽出し、経営の意思決定や施策実施に活用するデータドリブン・マネジメントの実現が鍵となります。

アビームコンサルティングでは、最新のAutoMLツール「dotData」を駆使したAIコンサルティングサービスによって、企業のデータドリブン・マネジメントの実現を支援いたします。

「データファースト」に向けたお客様の悩み

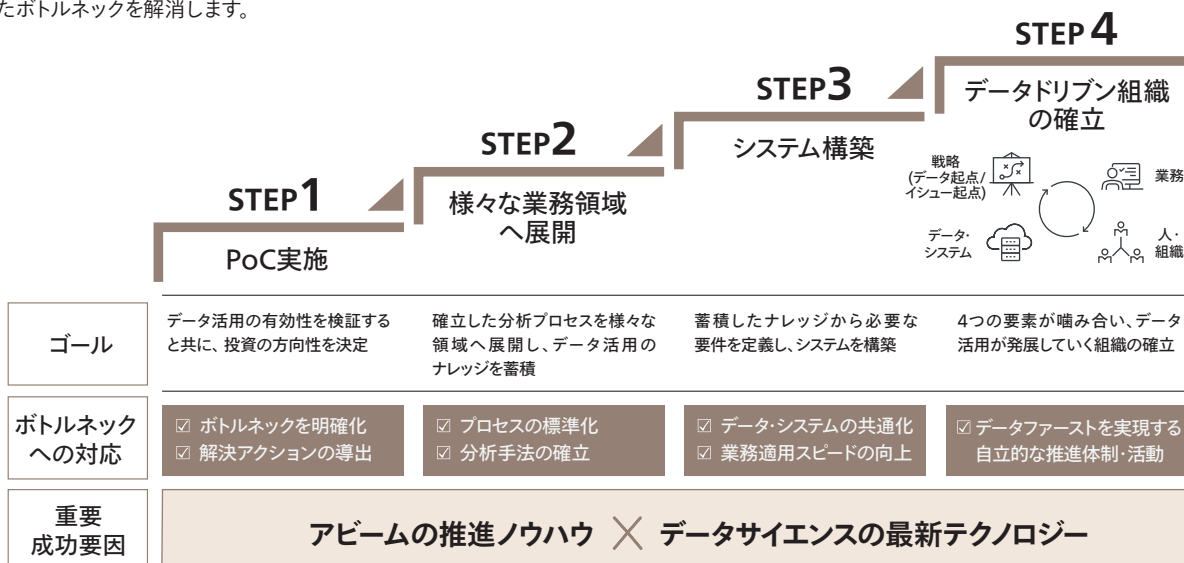
従来のイシュー起点の経営では、多くの経営者が価値創出に苦勞しており、データ起点の経営への転換を掲げているものの、プロセス改善に留まっており、事業機会の創出には至っていません。

その背景には、アナリストの数的・質的不足に加え、分析スピード、及び、分析から経営へのインサイト導出がハードルとなっています。



データドリブン・マネジメントを実現するアビームのアプローチ

ビジネス課題に対するデータ活用の有効性や期待するゴールが明確でなければ、データドリブン組織のあるべき姿を描くことはできません。そのため、PoCからスタートし、投資対効果を明らかにしながら段階的に適用範囲・システムを拡大していくことが成功のポイントとなります。アビームの推進ノウハウとデータサイエンスの最新テクノロジーにより、このアプローチをスピーディーに実現することで、お客様のデータファーストに向けたボトルネックを解消します。



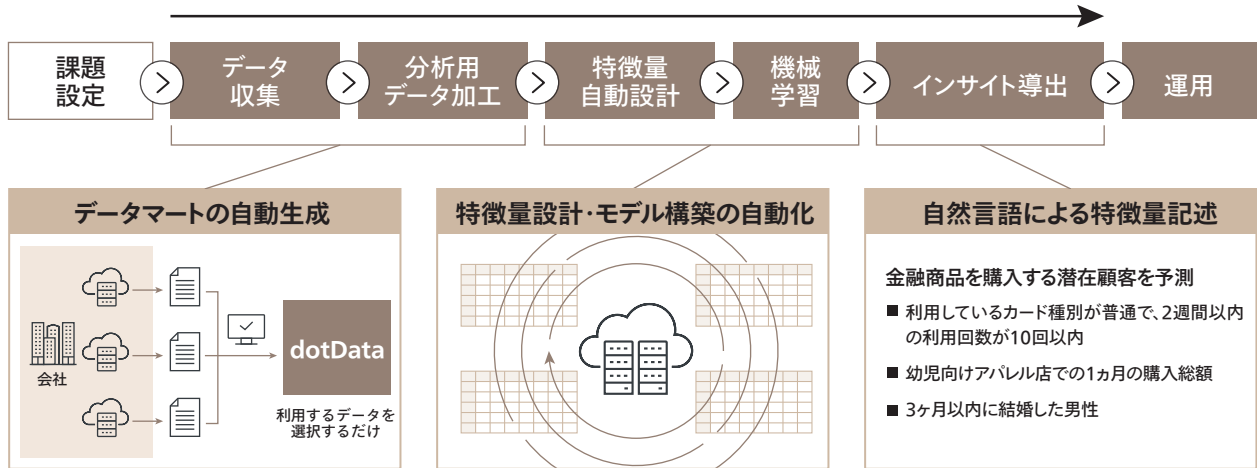
AutoMLツール「dotData」を駆使したデータドリブン・マネジメントサービス

アビームコンサルティングでは、AutoMLツール「dotData」を駆使したコンサルティングソリューションにより企業のデータドリブン・マネジメントのスピーディーな実現をご支援いたします。

データサイエンスを自動化するAutoMLツール「dotData」

dotDataでは、シームレスな自動化処理により数クリックでデータマートの生成、特徴量の設計、モデル構築までが完了し、分析結果を解釈しやすい形で確認することが可能です。また、運用システムも容易に構築することができます。

数クリックで自動実行



データ拡張を容易にするdotDataのパワフルな特徴量設計機能

| | 時系列データ | 時空間データ | テキストデータ |
|------------|---------------------------------|---------------------------------------|--|
| 生成される特徴量の例 | 新商品の需要予測における過去の類似品の発売後1週間の出荷量合計 | スーパーの来店人数予測における1時間以内の半径500m内の携帯電話利用者数 | コールセンターの苦情解析における苦情内容(テキストデータ)が「商品の故障」に関連する度合 |

データドリブン・マネジメントサービスのラインアップ

貴社の現状課題・目指す姿に応じて、適切なソリューションをご提供いたします。

| | クイックPoC | データドリブン型コンサルティング | AIシステム構築 | データドリブンな組織の実現 |
|--------|---|--|---|--|
| 課題 | AI技術を有効活用できるのかわからない | AI活用によるビジネス価値が十分得られていない | AI活用を継続的に成長させる仕組みが構築できていない | 全社的なAI活用ケイパビリティを強化したい |
| サービス内容 | <ul style="list-style-type: none"> dotDataの特性を活かして短期間で複数のPoCの分析実行・評価までを支援 データ・システム・人・業務の観点で今後の計画を策定 | <ul style="list-style-type: none"> dotDataの深い理解に基づき様々なビジネス領域でユースケースを共創 データドリブンの意思決定・業務プロセスの実現を支援 | <ul style="list-style-type: none"> 確立された方法論に基づき、属人化したプロセス・ノウハウをシステム化 独自アプローチによる継続的なモデル改善の仕組みを構築 | <ul style="list-style-type: none"> データ/イシュー起点で課題・脅威を導出し、事業機会創出を支援 目指す姿を定義し、推進組織設計から普及までを支援 |
| 効果 | AI活用の有効性が幅広く検証され投資計画が明確化 | AIの活用による持続的なビジネス価値の創出を実現 | PDCAサイクルが機能するAIシステムの構築 | データドリブンな意思決定が日常化しビジネス変革を実現 |